ビーバー スチーム ファン式 加湿器
取扱説明書

形式　SHE60GD

●このたびはビーバースチームファン式加湿器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。その後は大切に保管してください。
万一ご使用中にわからない時や、異常が生じた時に、きっとお役にたちます。

三菱重工空調システム株式会社

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、人が死亡または重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、人が傷害を負ったり物的損害等の重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 本文中に使われる“図記号”の意味は次のとおりです。

⃠	絶対に行わないでください。
❗	必ず指示に従い、行ってください。
（プラグ）	電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
（水ぬれ禁止）	水につけたり、かけたりしないでください。
（分解禁止）	修理技術者以外の人は行わないでください。
（接触禁止）	蒸気吹出口にさわったりしないでください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるところに必ず保管してください。

⚠警告

改造はしない。また修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

電源コードを引っ張らない、傷つけない、加工しない、束ねない、上に物を載せない。

禁止

電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

蒸気吹出口、吸気口やすき間にピンや針金などを入れない。

異物挿入禁止

内部に触れたり、異常動作して、感電やけがの原因になります。

マグネットプラグ、プラグ受けにピンやごみを付着させない。

禁止

ショートして、火災・感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグ、マグネットプラグを抜き差ししない。

禁止

感電やけがをすることがあります。

蒸気吹出口をさわったり、顔を近付けない。

接触禁止

やけどの原因になります。
（蒸気吹出温度　約55℃）

電源プラグ、マグネットプラグ、プラグ受けのほこりなどは定期的にとる。

ほこりを取る

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

AC100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用する。

AC100V 15A以上

AC100V以外、または他の器具と併用すると火災・感電の原因になります。

異常時（コゲくさい臭いなど）は運転を停止して電源プラグを抜く。

プラグを抜く

そのままにすると、火災・感電の原因になります。

⚠警告

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。

禁止

本機並びに対象物の品質低下の原因になります。

医療用途には使用しない。

禁止

本機は医療器具ではありません。使用方法によっては体調悪化や健康障害の原因になります。

幼児の手の届く範囲では使用しない。

禁止

感電・やけどをすることがあります。

マグネット式プラグを乳幼児が誤ってなめないように。

禁止

感電やけがの原因になります。

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

水ぬれ禁止

本体底面や送風口から水が内部に入り、火災・感電・ショートの原因になります。

電源プラグ、マグネットプラグを抜くときは電源コードを持たず、プラグを持って抜く。

プラグを持って抜く

コードがショートや断線して、火災・感電の原因になります。

お手入れの際は、必ず電源プラグ、マグネットプラグを抜いてから行う。

電源プラグを抜く

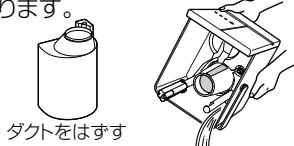
不意に作動して、やけどしたり、感電の原因になります。

お手入れに塩素系洗剤・酸性洗剤は使用しない。

使用禁止

有毒ガスが発生し、健康を害することがあります。

使用中や使用直後は持ち運ばない。お手入れをしない。

禁止

加熱筒・吹出口に触れると、やけどの原因になります。

排水するときは、ダクトをはずしてから排水方向に排水する。

13ページ

排水方向から

手順と排水方向を誤ると、送風口から水が内部に入り、火災・感電・ショートの原因になります。

ダクトをはずす

不安定な場所や傾斜した場所には置かない。

禁止

転倒すると水がこぼれ、火災・感電・ショートの原因になります。

⚠注意

蒸気吹出口をふさがない。

禁止

蒸気吹出口をふさぐと変形・故障や火災の原因になります。

上部カバーやダクトをはずして使わない。

使用禁止

蒸気が吹出してやけどの原因になります。

使わないときは電源プラグをコンセントから抜く。

電源プラグを抜く

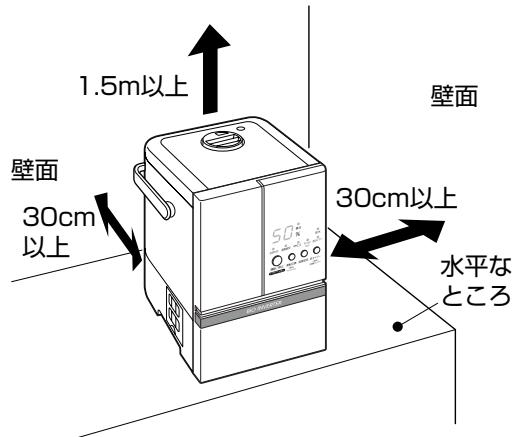
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

落としたタンク・本体は使わない。

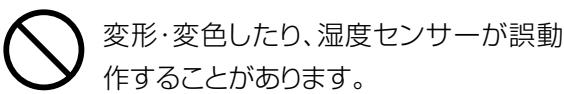
使用禁止

そのまま使うと破損箇所から水漏れしてショート・感電・発火の原因になります。

暖房機・テレビなどの電化製品や、熱に弱いテーブルなどの上に置かない。

設置禁止

転倒すると感電・ショートの原因になります。また本体底面の熱によりテーブルの変形・変色の原因になります。

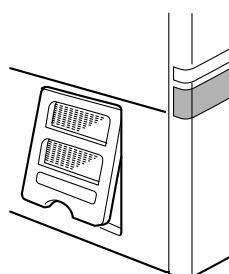
ご使用にあたってのお願い

製品の破損・劣化・誤作動を防止するために、必ずお守りください。

◎設置場所について

①必ず安定した水平なところに置いてください。
②蒸気による本体の誤動作・および壁・家具などの変形、シミ防止のため、図のように周囲との距離を十分にとると共に、蒸気が壁・家具・電気製品などに直接あたらないところへ置いてください。
③加湿器はエアコン据付側の低い位置に設置した方がお部屋の湿度を均一化することができます。

次の場所では使用しない

(1) 直射日光があたる場所、暖房機の上や近く、または温風があたるところ

変形・変色したり、湿度センサーが誤動作することがあります。

(2) サウナや浴室など、高温・高湿となるところ

過熱や感電・火災の原因になります。

お知らせ

BIOフィルターについて

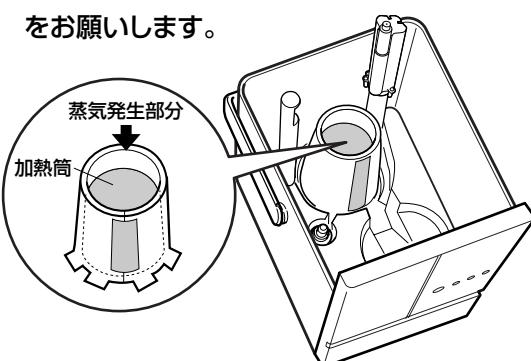
BIOフィルターには酵素が繊維全体に固定化されていて、捕集した細菌・カビ・ウィルスなどの微生物を除菌します。

天然酵素を利用していますので人体には無害で安心してお使いいただけます。

BIOフィルターは水洗いしないでください。
（お手入れの方法…14ページ）

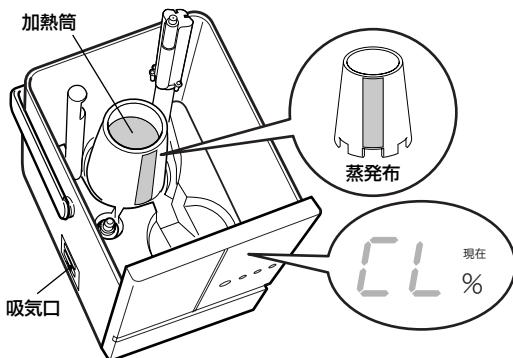
乾燥ウォッチャーについて

停止中に、お部屋の湿度が**35%以下**になると**乾燥サイン「dr」表示の点滅**と**ブザー**で乾燥気味状態をお知らせします。加湿する目安としてご利用ください。3分間点滅後点灯します。

◎ご使用について

水について

①**必ず水道水（飲用）をご使用ください。**
②40℃以上のお湯、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤などを入れると故障の原因になります。
③浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などを入れると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因となります。

スケールについて

①水道水を加熱して蒸気を発生させる際に、スケール（水道水中の蒸発残留物の事で、カルシウム・マグネシウム・シリカ・鉄分 等）が必ず発生します。
②スケールは、蒸発布および加熱筒に堆積していきますので、**このスケールを定期的に除去する事により故障を防ぎ、加湿器を長持ちさせる事ができます。**
※スケールは水質により多く発生する地域があります。加熱筒上面の蒸気発生部分にスケールの堆積が多い場合は早めのお手入れをお願いします。

③スケールの堆積が多い状態で加湿運転を行うと、加熱筒の温度が過度に上昇し、やがて加熱筒内部の安全装置が働いて停止するようになります。このような状態で運転を行うと、加熱筒の寿命が短くなりますので、早めにお手入れをお願いします。
※蒸発布および水槽内の水に含まれるスケール濃度が徐々に高くなっていき「水が茶色」に変色する場合がありますが問題はありません。

お手入れのしかた

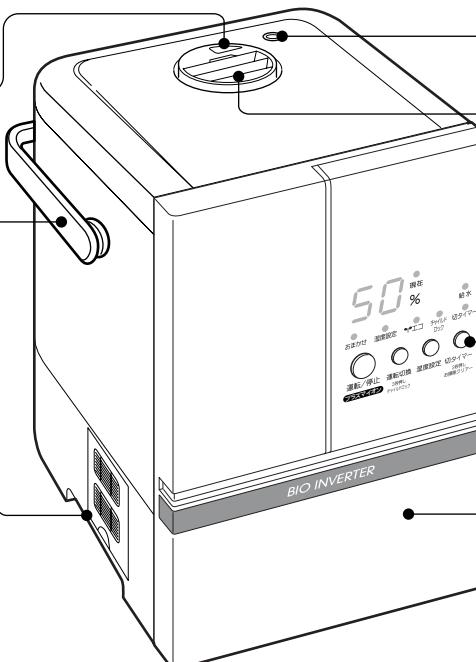
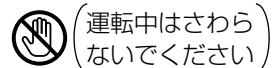
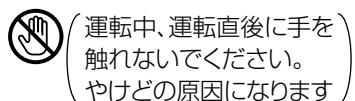
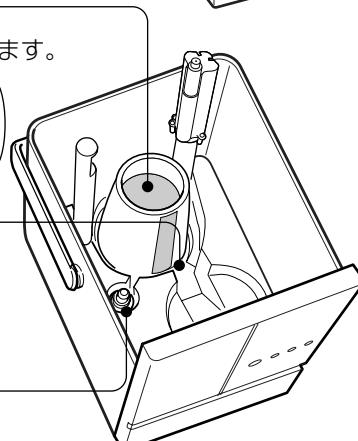
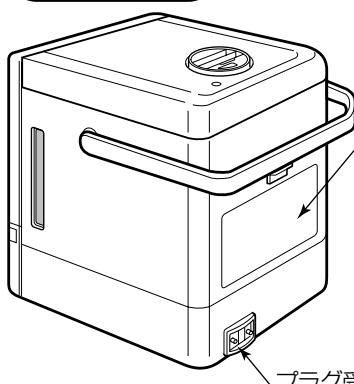
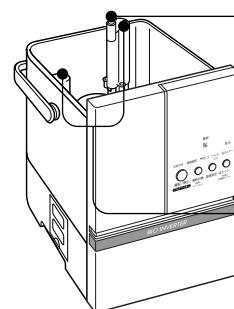
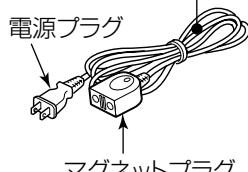
詳しくは⑫～⑮ページをご覧ください。

①**お掃除サイン「CL」**が表示されたら、蒸発布を取りはずして水で「もみ洗い」して、蒸発布に付いたスケールを洗い流してください。また加熱筒に付着しているスケールも濡れた雑巾等で拭いてください。**1週間に1回程度**の目安で表示されます。
（約60時間運転毎に表示します）
※「CL」表示は、汚れ状態を検知する機能はありませんので、お掃除の目安としてお使いください。
②吸気口も同時に掃除してください。
※加熱筒の表面にはフッ素コーティングが施してあります。傷が付くと、加熱筒の故障の原因になりますのでご注意ください。
※お掃除の後は、切タイマーボタンを3秒以上押して「CL」表示を消してください。

蒸発布の交換

①**蒸発布は消耗品です。**水による「もみ洗い」により繰り返しご使用になれますが、やがて洗っても染み込んだスケールが取れなくなります。**蒸発布がスケールで硬くなったり、ゴムが伸びた場合は、蒸発布を新しいものに交換してください。**
蒸発布の交換の目安は、運転時間：500～600時間です。（1日8～10時間運転した場合、2ヶ月経過したら交換）
※この目安の時間は、水質の違いによるスケールの発生量により変わります。

各部のなまえとはたらき

本　体

操作部

湿度表示（目安を示します）
運転中に現在湿度と設定湿度を表示します。また、下表のような情報を表示します。

運転モードランプ（緑）
運転モードを点灯表示します。

湿度イルミネーションランプ（赤/青）
運転中に点灯。快適湿度に到達するとランプが**赤色→青色**に切換わってお知らせします。

現在湿度ランプ（緑）
現在湿度表示中に点灯します。

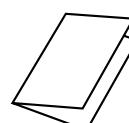
チャイルドロックランプ（緑）
チャイルドロック時に点灯します。 11ページ

給水ランプ（赤）
タンクの水がなくなると点滅表示してお知らせします。11ページ

切タイマーランプ（橙）
切タイマー運転時に点灯表示します。 10ページ

切タイマーボタン
①切タイマー運転時間の設定を行います。
②**3秒以上押すことにより、お掃除サイン「CL」表示の解除を行います。** 10,11ページ

湿度設定ボタン
湿度の設定を切換えます。
- **連続運転モード設定時「Co」表示** 9ページ

運転切換ボタン
運転モードを切換えます。

運転／停止ボタン
プラズマイオンも同時に「運転」「停止」を行います。 8,11ページ

50 %
現在
給水
おまかせ　湿度設定　エコ　チャイルドロック　切タイマー
運転／停止　プラズマイオン
運転切換　3秒押し チャイルドロック
湿度設定
切タイマー　3秒押し お掃除クリアー
BIO INVERTER

デジタル表示

表示	表示内容	
dr	**乾燥サイン（湿度35%以下）点滅とブザー**でお知らせ	3ページ
Lo	**現在湿度30%**未満のとき	8ページ
HI	**現在湿度80%**を超えたとき	8ページ
Co	湿度設定「**連続運転モード**」設定時	9ページ
2H,4H	**切タイマー**設定時	10ページ
CL	**お掃除時期**のお知らせ	11ページ

蒸発布（別売品）
①**お買い上げの「販売店」にて、お買い求めください。**
②郵送をご希望の場合は、付属品の「払込取扱票」にて郵便局からご注文ください。
③宅配をご希望の場合は、オンラインショップ https://ssl.mhiair.co.jp/shop/からご注文ください。

名　称	加湿器交換用蒸発布 SHES501
枚　数	2枚入
希望小売価格	1,260円（税込み）

付属品
包装ケース内から取り出して大切に保管しておいてください。

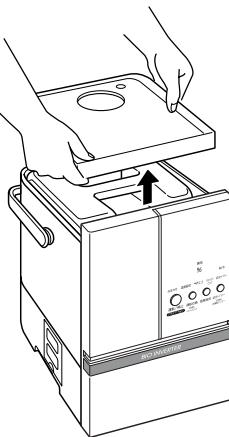
取扱説明書

払込取扱票（蒸発布お申込み用紙）

電源コード

予備の蒸発布

アロマミニ辞典

準備

❶タンクに水を入れる

(1) 上部カバーをはずしタンクを取り出してください。

(2) タンクキャップをはずし水道水（飲用）を入れてください。

お願い

①**タンクキャップを確実に締め、水漏れがないこと**を確認してください。
②タンクに付いた水はきれいに布で拭き取ってください。
③水槽に**直接水を入れない**でください。
④40℃以上のお湯、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは入れないでください。（④ページをご覧ください）
⑤本体を移動するときは、タンクを取り出してから移動し、改めてタンクを取り付けてください。

(3) タンクキャップを締め、タンクを本体にセットし、上部カバーを取り付けてください。

(4) 電源コードを接続してください。

プラグを持って確実に差し込んでください。

❷蒸発布に充分水を含ませる

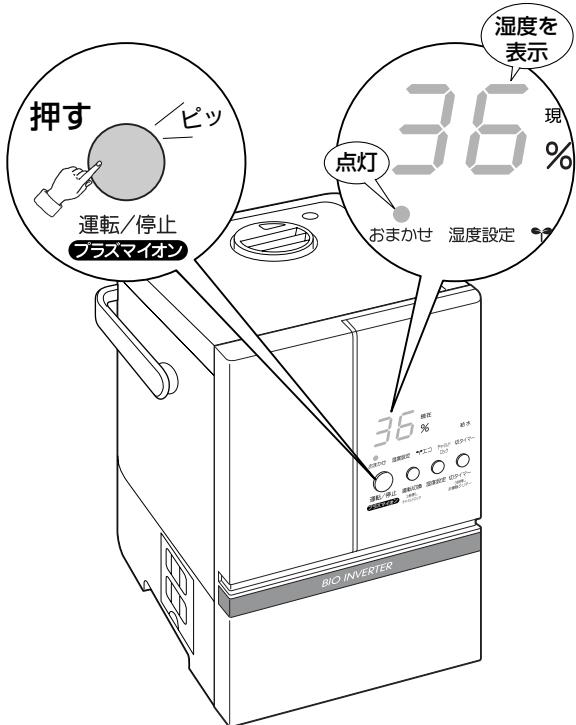
タンクをセットしてから約10分間待ってください。

蒸発布に水が浸透していない状態で運転を開始すると、現在湿度表示部に「E3」が表示される場合があります。（この場合は、しばらく時間をおいてから再度運転／停止ボタンを押してください。）

正しい使いかた

❶運転開始

(1) 運転／停止ボタンを押してください。

① ボタンを押すと「ピッ」と音がして湿度表示部とおまかせランプが点灯し、あらかじめ設定されている「おまかせ運転」モードで加湿を開始します。

② **デモ表示（約10秒）→設定湿度を5秒間表示した後に、お部屋の現在湿度表示に切換わります。**

30～80%のとき1%単位でデジタル表示
30%未満のとき「**Lo**」表示
80%を超えたとき「**Hi**」表示

③ 約1～3分後に蒸気が出ます。
※運転開始後5分間は湿度に関係なく強制的に加湿運転を行います。

④ 加湿運転中はプラズマイオンが発生します。

(2) 「おまかせ運転」モード以外で運転する場合は「運転切換ボタン」にて選択します。

⑨⑩ページをご覧ください。

お知らせ

①湿度表示について
1）現在湿度表示は本体側面にあるセンサーで測った湿度を表示します。**加湿器の湿度表示は目安としてお使いください。**
2）**使いはじめは、本体内部が冷えているため、高い湿度表示になることがありますが、運転すると下がって正常になります。**
3）同じ部屋でも場所や高さによって湿度ムラがあるため、お手持ちの他の湿度計と差が出る場合があります。また同じ位置に置いても加湿器の湿度センサーと湿度計では、精度や応答の速さが違うため、湿度差が出る場合があります。目安としてお使いください。
②運転中は水が蒸発する音が聞こえますが異常ではありません。
③初めてお使いになるとき、短時間ですがヒーター発熱のため多少においがすることがありますが異常ではありません。
④部屋の温度、湿度の状態によっては蒸気が見えにくいことがあります。

❷おまかせ運転

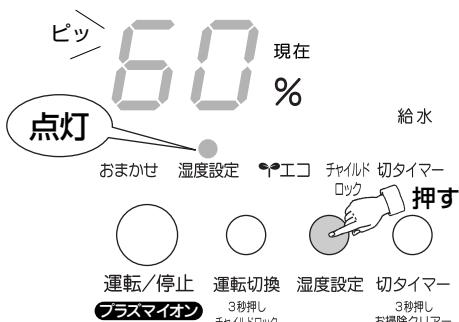
〈自動的にお部屋の温度に応じた最適な湿度にコントロールします〉

(1) 運転切換ボタンを押して「おまかせ運転」モードを選びます。

- ご購入後、初めて運転されるときは「**おまかせ運転**」でスタートします。

- Wセンサー（温度と湿度）が室内温度をチェックし、最適な湿度設定に自動的に切換えます。

◎室温と設定湿度の関係

設定湿度＼室内温度	19℃以下	20～22℃	23～24℃	25℃以上
50%				●
55%			●	
60%		●		
65%	●			

お知らせ

①湿度の設定は自動的に室温の変化によって切換わります。**(湿度の設定変更はできません)**
②室温が低いときは湿度が高めに設定されているため、湿度が上がりすぎて、窓などが結露する場合があります。
③設定湿度に達すると、蒸気の出方が少なくなり止まっているように見える場合がありますが、故障ではありません。

❸湿度設定運転

〈お好みの湿度に設定したいときにお使いください〉

(1) 湿度設定ボタンを押します。

- **設定湿度を5秒間表示した後に、お部屋の現在湿度表示に切換わります。**

(2) 再度、湿度設定ボタンを押します。

押すたびに「ピッ」と音がして、設定湿度が下記の順に変わります。

▶Co▶65▶60▶55▶50▶45▶40
(連続)

お知らせ

湿度表示部がCoのときは湿度85%まで連続加湿しますので、窓などが結露するときは設定湿度を40～60%の範囲でご使用ください。

お知らせ

①設定湿度を確認するときは、湿度設定ボタンを再度押すと設定値を約5秒間表示します。
②設定された湿度に達すると、湿度を一定に保つために加湿能力を抑えた運転に切換わります。
③設定湿度に達すると、蒸気の出方が少なくなり止まっているように見える場合がありますが、故障ではありません。

❹ エコ運転

〈おやすみのときなど、静かに長時間の加湿運転をしたいときにお使いください〉

(1) 運転切換ボタンを押して「エコ運転」モードを選びます。

点灯
おまかせ　湿度設定　エコ　チャイルドロック　切タイマー
ピッ　押す
運転／停止　運転切換　湿度設定　切タイマー
プラズマイオン　3秒押し チャイルドロック　3秒押し お掃除クリアー

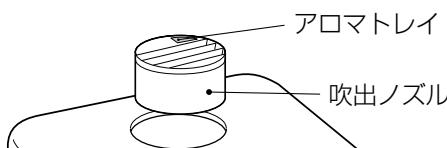
お知らせ

加湿能力を抑えた運転を行い、湿度の設定を**50%固定**に切換えます。**(湿度の設定変更はできません)**

❺ 切タイマー運転

〈自動的に運転を止めたいときにお使いください〉

(1) 切タイマーボタンを押します。

- 押すたびに「ピッ」と音がして、設定時間が右記の順に切換わります。(デジタル表示)
- 設定切タイマー時間を5秒間表示した後に、お部屋の現在湿度表示に切換わります。

お知らせ

①タイマー設定時間が経過したら停止します。停止後、本体の温度を下げるため**ファンは5分間回ってから停止します。**表示部はすべて消えます。
②**全ての表示ランプの輝度を落としてまぶしくないように運転します。**
③タンクの水量が少ないとタイマーが切れる前に給水ランプが点灯しますので、タイマー運転を行う前には水を給水しておいてください。

❻ アロマスチーム

〈加湿しながら香りを楽しみたいときにお使いください〉

(1) 吹出口のアロマトレイに市販のアロマオイルを数滴入れてください。

お知らせ

香りの持続時間は室内の温度、湿度によって異なります。
付属のアロマミニ辞典を参考にご覧ください。
但し、匂いの感じ方には個人差がありますのでアロマオイルはお好みに合わせてお選びください。

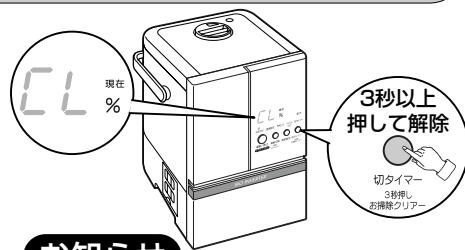
❗お願い

①アロマオイルのセットは必ず運転する前に行ってください。(やけどの原因になります)
②アロマオイル(エッセンシャルオイル)はデパートや専門店でお買求めください。
※アロマオイル(エッセンシャルオイル)は低温(約50℃)で香るものをお選びください。
③オイルが本体についたらすぐに拭きとってください。(変色する場合があります)
④気分が悪くなったら、使用を中止してください。
⑤香りの違うアロマオイルを使用する場合はアロマトレイを取りはずし、中性洗剤で洗い、水で十分洗い流してください。

❼ チャイルドロック

〈小さなお子様のいたずらや、運転の誤操作を防止したいときにお使いください〉

(1) チャイルドロックの設定と解除のしかた

「運転切換」ボタンを**3秒以上**押し続けると設定ができます。
設定中は全てのボタン操作をロックします。再度「運転切換」ボタンを3秒以上押し続けると解除ができます。

❽ お掃除サイン「CL」が表示されたら

〈お掃除時期を「CL」表示でお知らせします〉

(1) お掃除してください。

- お掃除時期はご使用状態によって異なりますが、1週間に1回程度の頻度で表示されます。（現在湿度と「CL」を交互に表示すると共に、ブザー音でお知らせします）
- 「CL」表示が出たら、⑫〜⑮ページの「お手入れのしかた」と「吸気口のお手入れ」に従ってお掃除してください。

(2) お掃除終了後は、電源コードを接続した状態で切タイマーボタンを3秒以上押して、「CL」表示を消してください。

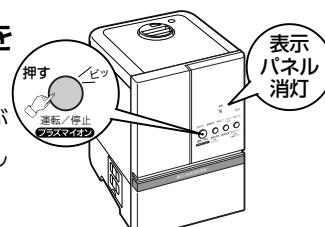
お知らせ

「CL」表示は、汚れ状態を検知する機能はありませんので、お掃除の目安としてお使いください。

❾ タンクの水がなくなると

(1) タンクの水がなくなると、自動的に加湿を停止させ給水ランプ（赤色）が点滅し、ブザーでお知らせします。（「ピーピー…」と3回鳴ります）

(2) タンクに給水し、本体にセットしてください。

給水ランプが消灯し、給水ランプ点滅前の運転モードで運転します。

お知らせ

①給水ランプが点滅しても、本体の温度を下げるため**ファンは5分間回ってから停止します。**
②給水ランプ**点滅中は一部のボタン操作は受付けません。**
③運転モードランプ点灯中（給水ランプ点滅後10分以内）であれば自動的に再運転します。
④運転モードランプが消えているときは、再度運転ボタンを押してください。

❿ 停止〔運転を終了したいときは〕

(1) 運転/停止ボタンを押してください。

すべての表示ランプが消灯し、運転を停止します。

🚫お願い

運転終了後もしばらくは蒸気が出ますので、吹出口にさわったり、顔などを近付けないでください。やけどをすることがあります。

お知らせ

①運転を「停止」しても本体の温度を下げるため、**ファンは5分間回って停止します。**
②運転を停止しても、電源プラグを抜かずに再び運転する場合、**停止前の運転モードで運転します。**但し、タイマー運転の設定は解除されます。
③電源プラグを抜くと全ての記憶は解除され、初期設定となるため、**あらためて各運転モードを設定してください。**

お手入れのしかた

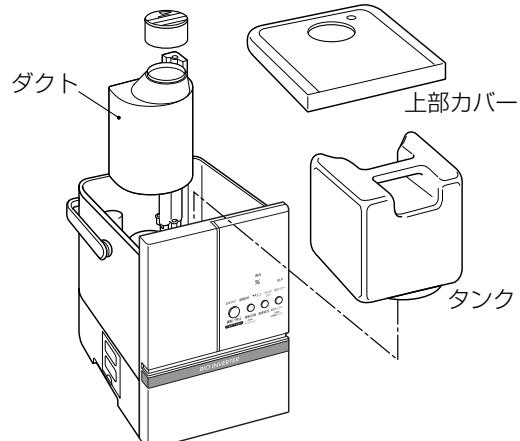
⚠警告

お手入れの際は必ず差込みプラグをコンセントから抜くこと。
また、ぬれた手で抜き差ししないこと。

感電やけがをすることがあります。

お手入れに塩素系洗剤、酸性洗剤は使わないこと。

洗剤が残り、有毒ガスが発生することがあります。

使用中や使用直後は、お手入れをしないこと。
運転停止後、約30分たってからお手入れしてください。

高温部に触れ、やけどの原因になります。

◎加湿器のご使用に伴い、蒸気発生部分にスケールが堆積してきます。スケール発生量が多い場合は早めにお手入れしてください。
◎加湿器の「運転時間」および「水道水の水質」によりお手入れの頻度は異なりますが、現在湿度表示部にお掃除サイン「CL」表示が出たら、次のお手入れを行ってください。
お手入れが終わったら、切タイマーボタンを3秒以上押し続けてお掃除サイン「CL」表示を消してください。

❶お手入れを始める前に

(1) 運転／停止ボタンを押して「停止」してください。

(2) 電源プラグをコンセントから抜いてください。

(3) 停止後しばらくは内部が高温になっていますので約30分たってからお手入れしてください。

(4) 右図のように各部を取りはずしてください。

❷本体のお手入れ

(1) 濡れた雑巾などで汚れを拭き取ってください。

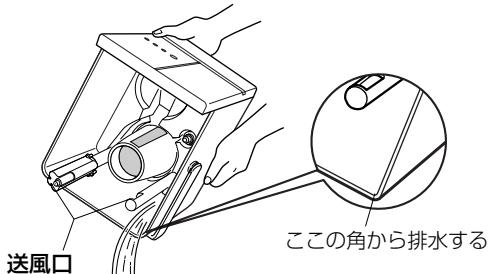
(2) 汚れがひどい場合は中性洗剤溶液に浸した雑巾を固くしぼって拭き取り、その後はよくからぶきをしてください。

お願い

変質・変色防止のためにベンジンやシンナー、アルコールなどは絶対に使用しないでください。

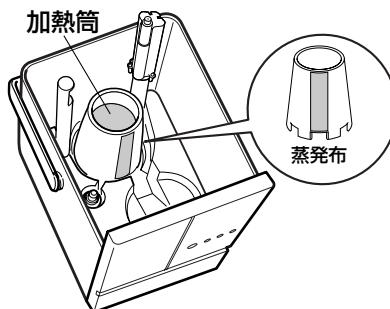
❸タンクのお手入れ

(1) 汚れがひどい場合は、タンクに水を少量いれ、キャップを締めて振り洗いをし、排水してください。

(2) 内部をきれいに拭いてください。

❗お願い

①タンクに水を入れたまま放置しますと運転したとき臭いが出る場合があります。
②1週間以上ご使用にならない場合は、タンクの水を排水してください。

❹本体内部のお手入れ

(1) 水槽内の水を捨ててください。

下図のように送風口に水が入らないように、ゆっくり注意しながら排水してください。

⚠警告

排水するときは、必ず排水方向から排水してください。

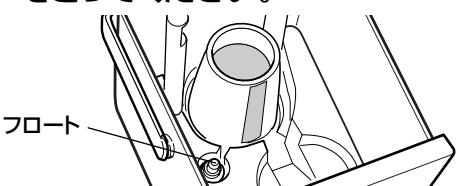
排水方向を誤ると、支柱部の送風口から水が内部に入り、火災・感電・ショートの原因になります。

水槽内を洗うための水を追加しないでください。

禁止

加湿器内部に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。

(2) 蒸発布の取りはずし

①両手で蒸発布を押し広げ加熱筒との隙間を作ります。
②蒸発布の上部を両手で持って上側に引き出します。

❗お願い

蒸発布が乾いているときやはずしにくい場合は、**蒸発布に水を含ませてから取りはずしてください。**

(3) 水槽内および加熱筒についた汚れを濡れた雑巾などで拭いてください。

加熱筒に付着しているスケールが乾燥しているときは、水を十分に含ませてから拭いてください。

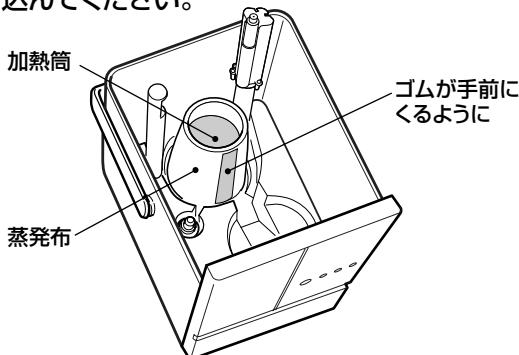
❗お願い

①スケールを除去しにくい場合は歯ブラシなどで水洗いをして、スケールを洗い落としてください。
②加熱筒の表面にはフッ素コーティングが施してありますので、**研磨剤・金属タワシなど固いものでこすらないでください。**
加熱筒に傷がつき、故障の原因になります。

(4) フロートの回りが汚れていれば汚れをとってください。

⊘お願い

フロートは取りはずさないでください。
（フロートには上下方向があり、方向をまちがえますと誤動作の原因となります）

(5) 取りはずした蒸発布を水で「もみ洗い」してください。

①蒸発布は水で「もみ洗い」する事により繰り返しご使用になれますが、やがて洗っても染み込んだスケールが取れなくなります。

②蒸発布がスケールで硬くなったり、ゴムが伸びた場合は、蒸発布を新しいものに交換してください。（⑮ページをご覧ください）

(6) 蒸発布の取り付け

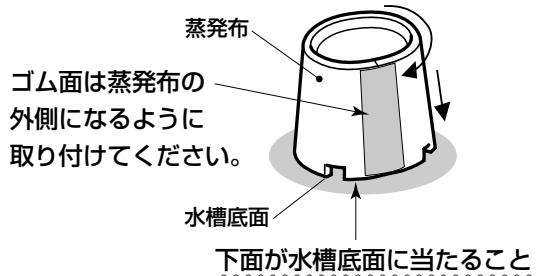
①蒸発布を加熱筒にかぶせ、蒸発布を両手で左右前後に広げながら、**ゴムが正面（手前）**にくるように押し込んでください。

②蒸発布下端部が全て水槽底面に当たるまで押し込んでください。

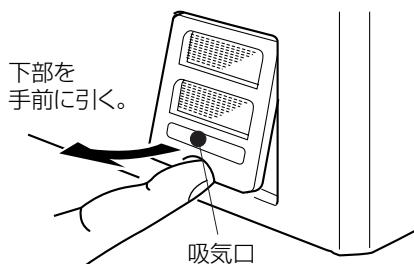
(7) ダクトを水洗いしてください。

(8) タンク・ダクト・上部カバーを取り付けてください。

⚠注意

蒸発布を「もみ洗い」する際に、硬くなったスケールでケガをしないようにご注意ください。

お知らせ

①蒸発布は湿らせた状態で押し込むと入りやすくなります。

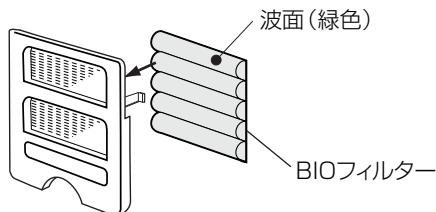
②蒸発布は正しく取り付けてください。
1）押し込みが少ないと水の吸い上げが悪くなり、運転が停止することがあります。
2）蒸発布の一部が折れ曲がったり、傾いたりすると、水槽内の水温が上昇することがあります。

吸気口のお手入れ

❗お願い

お掃除サイン「CL」が表示されたら、吸気口を掃除してください。
（汚れがひどくなりますと蒸気の出が弱くなり、また正しい温度や湿度を検知しにくくなります）

(1) 吸気口を本体側面からはずしてください。

(2) 掃除機で吸気口とBIOフィルターのほこりを吸い取ってください。

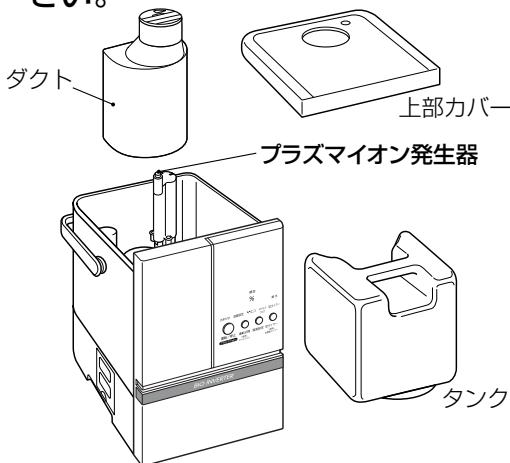
※BIOフィルターは水洗いしないでください。

BIOフィルターの汚れがひどく、取れにくい場合および破損したときは交換してください。

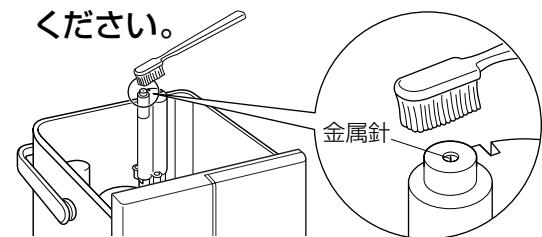
・交換用BIOフィルター お買い上げの「販売店」にてお買い求めください。

名 称	BIOフィルター	枚 数	1枚
品 番	SHT437A001	希望小売価格	420円（税込）

(3) 吸気口を本体に取り付けてください。

- BIOフィルターの波面をケースの内側に入れてください。

❗お願い

吸気口をはずしたまま使用しないでください。故障の原因になります。

(4) お手入れが終わったら、切タイマーボタンを3秒以上押してお掃除サイン「CL」表示を消してください。

プラズマイオン発生器のお手入れ

※プラズマイオン発生器のお手入れは、6ヶ月に1回が目安です。

(1) 上部カバー、ダクトをはずしてください。

(2) プラズマイオン発生器内部の金属針の先端を歯ブラシで3～4回こすってください。

⚠注意

綿棒などの毛羽だったものや金属棒などの固いものなどは使用しないでください。

蒸発布の交換

(1) 交換時期

①**蒸発布は消耗品です。蒸発布がスケールで硬くなったり、ゴムが伸びた場合は、蒸発布を新しいものに交換してください。**

②蒸発布の交換の目安は、**運転時間500～600時間です。（1日8～10時間運転で約2ヶ月）**

※この目安の時間は、水質の違いによるスケールの発生量により変わります。

（蒸発布のお買い求め方法…6ページ）

※使用済みの蒸発布は、**不燃物**として廃棄してください。

(2) 蒸発布の交換方法

- 蒸発布の取りはずし、取り付け手順については、⑬、⑭ページの(2)、(6)項をご覧ください。

❗お願い

新しい蒸発布に交換後、運転を再開する場合は、タンクをセットしてから**約10分後に運転ボタンを押してください。**

お知らせ

蒸発布がコゲ茶色で焼きついたようになっている場合は、水分中の鉄分（スケール）が多く吸着されたものであり、焼けたものではありません。

保管のしかた

(1) お手入れをした後に、内部に水が残っていないか確認の上、使用した蒸発布を取りはずしてください。

(2) 水を拭き取り、自然乾燥させてください。

(3) お買い上げ時の包装ケースに入れるか、ポリ袋などで包み、湿気の少ないところに保管してください。

お願い

- 使用した蒸発布は必ず取りはずし、乾燥させた上で保管してください。

※使用した蒸発布を付けたまま保管しますと、加熱筒にスケールがこびりつき、故障の原因になる場合があります。

仕　様

形式		SHE60GD
電源		単相100V　50-60Hz共用
加湿量（連続運転時）		600mL/h
消費電力（最大）		440W（4.4A）
タンク容量		約4.0L（運転時間約7時間以上）
適用床面積（目安）	木造和室	17m²（10畳）
	プレハブ・コンクリート洋室	27m²（17畳）
外形寸法（高さ×幅×奥行）		308×221×297㎜（ハンドルを倒した状態）
質量		約3.8kg（満水時約7.8kg）
電源コード		125V 7A　マグネットプラグ式2m（市販品も使えます）
安全装置	フロートスイッチ	水槽の水位が規定値より下がると作動して、加湿を停止します。（給水ランプ点滅）
	温度センサー	フロートスイッチが作動しない場合、蒸発布の取り付け忘れの場合など、加熱筒の温度が異常に上昇したときに感知して停止します。
	温度ヒューズ	温度センサーが作動しない場合は、このヒューズが溶断して全停止します。（自動復帰はしません）

故障かな?と思ったときは

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください

症　状	確認してください	処　置
運転しない（表示が点灯しない）	マグネットプラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。
	停電またはブレーカが落ちていませんか。	復帰を待つ。ブレーカを入れる。
	給水ランプが点灯していませんか。	タンクに水を補給してください。
給水ランプが消えない	フロートの周囲がスケールやホコリなどで汚れていませんか。	スケールなどを取り除いてください。
お手入れしたのにお掃除サイン「CL」表示が消えない	――――	タイマーボタンを3秒以上押して「CL」表示を消してください。
蒸気が出ない（表示は点灯）	運転を始めた直後ではありませんか。	蒸気が出るまで1～3分かかります。
	お部屋の湿度が設定湿度より高くなっていませんか。	お部屋の湿度が高いため加湿を停止しています。
蒸気の出が少ない	お部屋の湿度と温度の条件により、蒸気が見えにくい場合があります。	タンクの水が減っていれば故障ではありません。
	「お部屋の湿度が設定湿度と同じ位」または「エコ運転」になっていませんか。	加湿能力を抑えた運転を行っていますので故障ではありません。
	蒸発布にスケールがたまっていませんか。	蒸発布を洗ってください。または蒸発布を交換してください。
	吸気口にほこりがたまっていませんか。	吸気口のほこりを取ってください。
	加熱筒の表面に凹凸などの異常がありますか。	加熱筒の部品交換が必要です。修理をご依頼ください。
運転が停止する（E1、E2表示）	――――	安全装置（温度センサ）の故障です。修理ご依頼ください。
運転が停止する（E3表示）	蒸発布は正しく取り付けてありますか。（⑭ページの（6）項をご覧ください。）	蒸発布を正しく取り付け、十分に吸水させてください。
	蒸発布は加熱筒に密着していますか。	蒸発布がスケールで硬くなったり、ゴムが伸びた場合は、蒸発布を新しいものに交換してください。
加湿しても湿度が上がらない	お部屋の入り口や窓が開いていませんか。	開いているところを閉めてください。
	設定湿度が低く設定されていませんか。	設定湿度を変更してください。
湿度表示が上がりすぎる	初めてのご使用ですか。	使い始めは内部が冷えているため高湿度表示することがありますが、やがて下がります。
停止してもファンが回っている	運転を停止したばかりではありませんか。	ファンは5分後に止まります。
蒸気が臭う	加湿器内部が汚れていませんか。	お手入れしてください。
ボタン操作ができない	チャイルドロックになっていませんか。	ロックを解除してください。

このようなときは販売店へ

●電源プラグやコードの被覆が損傷しているとき。	⇒ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。
●電源プラグやコードが異常に熱いとき。	
●運転中に異常音が出るとき。	
●電源プラグを抜き、3分以上たってから再運転しても運転動作に異常があるとき。	
●「修理を依頼される前に、次のことをお確かめください」を見ても改善しないとき。	

保証とアフターサービス

保　証　書	●保証書は「**裏表紙**」に付いています。 ●保証書は、「お買い上げ日」と「販売店名」の記入を必ずお確かめの上、販売店からお受け取りください。 ●内容をよくお読みになった上で、大切に保管してください。
修理を依頼されるときは	●「故障かな?と思ったときは」をご覧になった上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。 **【ご連絡いただきたいこと】** ①製品形式　②製造番号　③お買い上げ日　④故障の内容　⑤ご住所･お名前･電話番号 **●保証期間中の修理** ・保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理いたします。 **●保証期間経過後の修理** ・修理により加湿器の機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
補修用性能部品の保有期間	●当社は、この加湿器の補修用性能部品を、**製造打ち切り後6年間**保有しています。補修用性能部品とは、商品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様ご相談窓口のご案内

●蒸発布のご注文、修理のご依頼などのご相談は、まず**お買い上げの販売店**までお問い合わせください。

●転居やその他の理由で、お買い上げの販売店にご相談できない場合の修理のご依頼は**「修理受付窓口」**へどうぞ。

修理受付窓口	サービスフロントセンター （修理受付、部品、技術相談）	キュウナゴヨウモ365ニチタイオウ **0120-975-365**

●ご購入についてのご相談･お取り扱い方法･お手入れ方法についてのお問い合わせは**「お買物相談室」**へどうぞ。

お買物相談室	フリーコール ハ イ ジュウコ ウ サン キュー **0120-81-1539**	受付時間:平日（月曜日～金曜日） 9:00～12:00 13:00～17:00 ※携帯電話･PHSからもご利用できます。

●三菱重工空調システム株式会社ホームページ　**http://www.mhiair.co.jp/**

持込修理

ビーバー スチームファン式 加湿器 保証書

※形　式	SHE60GD	※製造番号	

※お買い上げ日	※お客様	お名前　様	ご住所 〒　電話
年　月　日			
保証期間（お買い上げ日より）	※販売店	店名　印 またはサイン	ご住所 〒　電話
本体1年間			

ビーバースチームファン式加湿器ご愛用の皆様に、安心してご使用いただくため、三菱重工空調システム株式会社は、その品質を下記の通り保証いたします。

㊁:保証期間中に取扱説明書·本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で万一故障しました場合は、本書をご提示の上、上記のお買い上げ販売店に修理をご依頼してください。「無料修理」いたします。（持込修理扱いです）

●ご転居、ご贈答品等で上記の販売店に修理がご依頼できない場合は、修理受付窓口へご相談ください。

●出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受ける場合があります。

なお、次の場合は保証期間中でも「有料修理」といたします。

①誤ったご使用および弊社の認めない修理または改造による故障および損傷

②一旦納入した後に、移動或いは火災、塩害、ガス害、その他、天災地変、公害や異常電圧により故障、或いは損傷を生じた場合

③車輌、船舶等に備品として搭載された場合の故障および損傷

④保証書のご提示がない場合

⑤保証書欄の記入項目「お名前、販売店名㊞、お買い上げ日」に記入のない場合、或いは字句を書きかえられた場合

これらの保証は、日本国内に納入された場合に限り適用されます。

（ご注意）本証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

●お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

お客様の法律上の権利について

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて「無料修理」をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または修理受付窓口にお問い合わせください。

保証期間経過後の修理等について

・修理によって加湿器の機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

・加湿器の補修用性能部品は製造打ち切り後、6年間保有しています。

修理メモ 修理年月日	修理内容	担当
年　月　日		
年　月　日		

三菱重工空調システム株式会社

愛情点検

★長年ご使用の加湿器の点検をぜひ！

ご使用の際にこのようなことはありませんか	●コゲくさい臭いがする。 ●水漏れする。 ●本体が異常に熱い。 ●運転中異常な音がする。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理（有料）をご相談ください。

三菱重工空調システム株式会社

エンジニアリング本部 システム製造部　〒452-8561 愛知県清須市西枇杷島町旭3-1